



21世紀



学校教育目標：心豊かで たくましく生きる子どもの育成

令和7年9月9日

地域のイベント情報

先週、チラシでもお知らせしましたが、今週末、9月13日(土) 16:00~21:00に旧後閑保育園跡地で、「たまごかんえんにち」が開催されます。ステージでのパフォーマンスや屋台のおいしい食べ物、うちわ抽選会などが予定されています。

子どもたちには日ごろからいろいろな体験をさせてやりたいと思う私としては、学区内でこんな催しがあるなんてラッキーとしか言えません。主催者の方も、ぜひ、後閑小学校の児童の皆さんに来てほしいと話されていました。ご家族で後閑の夜を楽しみませんか。

※お車でお越しの際は、後閑小の運動場をご利用ください。



夏の思い出 ~楽しかった夏のお泊まり会~

校長の野望+児童の野望+保護者の野望+地域の野望をミックスした「夏のお泊り会」について、遅くなりましたがご報告させていただきます。

コロナが流行する前までは、PTAが主となって実施していた「夏のキャンプ」ですが、児童数も家庭数も激減してしまった今、昔のようにはできないけれど、今できるやり方でやれるなら試してみたいと思い、校長自ら言い出しっぺで計画、実施させていただきました。

1泊2日に、みんなのやってみたいことを詰め込んで、盛りだくさんの体験会になりました。中でも、大勢で食べた「いのししカレー」の味は最高でした。



《終わって、校長が感じたこと》

- ・子どもたちが思いっきり楽しんでいるのを見て、やってよかったという喜び。
- ・地域の方の「学校のため、子どもたちのために、一肌脱ごう」という優しさ。
- ・保護者の皆さんにも校長と同じような野望があることを知った嬉しさ。
- ・参加したくても参加できなかった児童への申し訳なさ。
- ・校長一人で、イベントを仕切るしんどさ。

《予期せぬ嬉しい出来事》

地域の方を招いて実施した「夕べの集い」ですが、配膳などに時間がかかり、お待たせしてしまう場面がありました。「どうしよう、お客様を待たせてしまう」と焦る校長。

目の前にいた6年生に「何か、歌でも歌って場をつないでくれるかな」とお願いしました。無理なお願いしてしまったなと思いましたが、悲壮感漂う校長の顔を見て、「分かりました」と答え、ほかの子どもたちを誘って、校歌を歌って場を盛り上げてくれました。

その他にも、夕べの集いに、みんなでダンスしたら楽しいだろうと提案して準備をしてくれた〇〇さん親子。その場の流れで急遽「かっからか」を踊って見せてくれた高校生と児童、などなど。

こういう姿が、みんなで創るお泊り会だと感動しました。本当にありがとう。

「校長一人でも、やります」と言いながら、実際は、「一人ではできないよなあ、どうしよう」と悩んでいたのも、一緒に楽しんでくれる方を求めて、保護者や地域の方に声をかけさせていただきました。いろいろな方にたくさんの支援をいただいて、本当に感謝しかありません。

皆さんへのお礼に、届けられる物があるとしたら、お泊り会で生まれた子供たちの笑顔と、温かい人の心に触れて成長した子どもたちが創るこれからの明るい未来だと思っています。

今後も、子どもたちの健やかな成長を願って、学校と地域と家庭と一緒に野望を叶えていきたいと思っています。よろしく願いいたします。



開会式の様子。どんなお泊り会にしたかを考えて灯ろうに書きました。



「おにぎらず」をみんなで作って食べました



イノシシの肉を炒めています。とてもおいしかった「いのししカレー」の写真がこれしかなくて、お見せできません。ごめんなさい。

食事のあいさつの役を
進んでしてくれた5年
生3人です。



運動場で花火をしました。お父さんたちが、大きな花火をしてくれました。





6時起床。6時30分のラジオ体操。
朝日を浴びて、しっかり目覚めることができました。



夜の肝試し。とても怖かったランチルームの仕掛けは、お昼に見ても恐ろしかったです。



暑い夏は、プールが一番。浮き輪やビーチボールなどを持ち込んで、授業ではできない水遊びに大はしゃぎでした。



竹の節をみんなで取って、流しそうめんの準備をしました。



流しそうめん、スイカ割り、バーベキュー。お腹も心も満たされた二日間でした。お疲れさまでした。